

2023 夏期講習



 **合格指導会** 

堺東校

現役で難関大学へ。

SUR 合格指導会では、意欲ある高校生に対し、現役で京都大学、大阪大学をはじめとする難関大学へ合格する体系的な指導を提供します。

授業の中に、合格の手応え。

SUR 合格指導会は、中高6年一貫指導で東大・京大を目指す「大学進学塾 SUR」の指導経験を踏まえ、難関大入試に直結した授業を高1から展開します。

授業の中で、合格への確かな手応えを感じ取っていただきたいと考えています。

2023年大学入試 合格実績

国公立大学 計126名

東京大学	2名	京都大学	9名		
大阪大学	13名	神戸大学	9名		
大阪公立大学	34名	和歌山大学	21名		
大阪教育大学	6名	和歌山県立医科大学	5名	奈良女子大学	2名
兵庫県立大学	2名	鳥取大学	2名	徳島大学	2名
北海道大学	1名	弘前大学	1名	岩手大学	1名
新潟大学	1名	福井大学	1名	信州大学	1名
名古屋市立大学	1名	三重大学	1名	滋賀大学	1名
滋賀県立大学	1名	京都工芸繊維大学	1名	京都府立大学	1名
奈良県立医科大学	1名	神戸市外国語大学	1名	岡山大学	1名
広島大学	1名	下関市立大学	1名	愛媛大学	1名
九州大学	1名				

私立大学 計717名

関西大学	186名	関西学院大学	85名		
同志社大学	62名	立命館大学	23名		
近畿大学	145名	大和大学	26名	武庫川女子大学	21名
大阪工業大学	17名	同志社女子大学	14名	畿央大学	13名
摂南大学	12名	追手門学院大学	8名	関西外国語大学	8名
森ノ宮医療大学	8名	京都薬科大学	7名	龍谷大学	7名
大阪医科薬科大学	7名	大阪経済法科大学	7名	大阪経済大学	6名
関西医科大学	6名	阪南大学	6名	桃山学院大学	5名
甲南大学	5名	関西医療大学	3名	順天堂大学	2名
東京理科大学	2名	京都産業大学	2名	京都女子大学	2名
京都橘大学	2名	大阪成蹊大学	2名	帝塚山学院大学	2名
神戸薬科大学	2名	奈良学園大学	2名	早稲田大学	1名
藤田医科大学	1名	大阪大谷大学	1名	大阪芸術大学	1名
大阪商業大学	1名	大阪電気通信大学	1名	四天王寺大学	1名
桃山学院教育大学	1名	神戸学院大学	1名	その他の大学	3名

*合格者数は、SUR 合格指導会・SUR・MedSUR の合計です。季節講習会のみ受講生、無料体験受講生は含まれません。

指導の特長

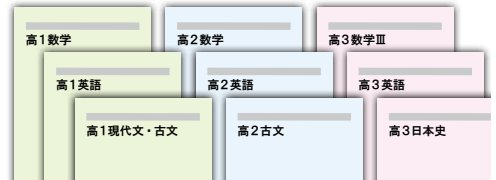
プロの専任講師陣

SUR合格指導会では、経験豊富で大学入試を知り尽くしたプロフェッショナルな専任講師陣が責任をもって授業を行います（一部、大手予備校と兼任する講師も在籍）。長年の実践を経て完成された授業を提供します。



高品質な教材群

高い専門知識を持った講師陣が、実践と検証を長年繰り返した結晶としてのオリジナル教材群で指導を行います。



実戦力を鍛え上げる添削指導

国公立大2次、そして一部私立大入試に必要なのが、英作文や数学論述に代表される記述式の答案です。これらは一つの問題に対して正解が無数に存在するため、個々の答案に対する専門家による添削指導が欠かせません。SUR合格指導会では、担当講師自身が十分な時間をかけて添削指導を行います。



高校生統一テストと個人懇談

高1と高2では7、12、3月に、英語・数学の学習成果を測るための高校生統一テストを実施します。この答案は担当講師により入念にチェックされ、その結果は個人懇談による勉強方法改善のアドバイスに役立てられます。また、ご希望の方には保護者向け個人懇談も行っています。



快適で安全な学習環境

学習に集中できる自習室、息抜きに仲間と談笑できて食事もとることができる談話室を設置。また、堺東校は駅上ビル内にあり通塾に便利な校舎で、快適性を備えた最高の学習環境です。

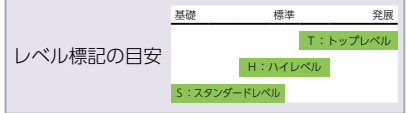


VOD 欠席フォローシステム（無料）

講義はビデオで録画されており、欠席したときはそれを後日視聴することができます（一部の講座を除きます）。画質は板書の添え字まできれいに見えるフルHDのため、ライブの場合と遜色ない受講が可能です。



高 1



英語 T	高校英文法における重要単元の一つであり、英語の理解には欠かすことができない「分詞」の習得を、解説と演習を通して図ります。分詞を根本から理解した上で、京都大・大阪大などの難関大学で出題される英文読解、英作文にも応用できる力を育成します。
英文法復習講座	「文型」「時制」「不定詞」に焦点を当て、基本事項の確認、加えて様々な形式の問題の演習と解説を通して、実践的な知識の習得をはかります。夏期講習から入会される方を含めて、1年生の間に英文法の基礎を確立させたい方におすすめの講座です。
英語 S C	泉陽高校1年生の方対象の講座です。重要単元を数多く学習することになる夏期講習明けの学校の授業に向けて、先取りの学習をします。学校と並行した授業進度では余裕を持ってなかった方、基礎内容に加えて発展内容の学習、演習をしたいという方に受講していただけます。
英語 S C 復習講座	泉陽高校で、これまでの定期考査範囲となった文法単元を再復習する講座です。定着度の確認だけでなく、学校では扱わなかったが、大学受験では重要な発展内容も取り扱います。S C受講生は必ず受講するようにしてください。
数学「三角比」 T/H	cos, sin, tanの意味と性質を理解し、図形問題への応用法を学びます。初等幾何では扱いにくい問題が、これらの定理によって簡単な計算問題になってしまう様子を目の当たりにしていただけます。三角比の意味とイメージを大切に、公式が成り立つ理由まで詳しく解説していきます。
150分	
数学 S C	泉陽高校1年の方を対象とした数学の講座です。学校の進度に合わせて、数学 I または A の内容を講義（学校の進度によっては復習も含む）します。高1の間に学習する内容は、以降の学習の土台となるものばかりです。授業ではその中でも特に重要な事項を精選し、指導します。
数学 I A 演習（上級編）	数学 I A の既習単元について演習を通じてより深く学びたい方、数学に自信がある方が対象の講座です。「2次関数」と「場合の数」の大学入試レベルの問題に触れることで、知識とその活用方法の整理を行っていただけます。 ※受講基準：2次関数、2次方程式・不等式、場合の数をすべて学習していること。
数学 I A 演習（標準編）	数学 I A 「数と式」「2次関数」「場合の数」について復習したい方が対象の講座です。「数と式」「2次関数」はこれからの数学にも深く結びつく単元、「場合の数」は入試頻出の「確率」に直結する単元です。これらの重要単元をしっかりとマスターすることで、高校数学の学習ペースをつかみましょ。 ※受講基準：数と式、2次関数の最大・最小、場合の数を学習していること。
現代文・古文	現代文・古文を各2日扱います。現代文分野では、「国語力・日本語力」に基づいた読解力の向上はもちろん、論理的思考力の向上を目指し、大学入試、そしてその先まで活用できる学力の育成を目指します。古文では、古典文法の基本を振り返りつつ、それを応用した読解法について学習します。

英検®対策

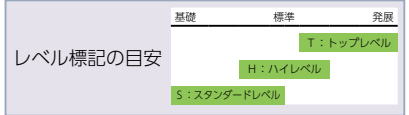
英検®準1級対策講座	高1、2年生対象の英検準1級の対策講座です。準1級は、相当な対策をしないと合格はできません。映像で必要な必須英単語の習得や、英文読解や英作文の解説だけではなくネイティブ講師によるリスニングや2次面接の対策まで行います。すでに英検2級を取得している方は、是非準1級の受験にチャレンジしてみてください。 ※全60分×15回の講座です。形式や受講料等の詳細は、別紙にてご案内させていただきます。
VOD	
英検®2級合格集中講座	次回に行われる第2回（10月）英検を受検し、合格を目指す講座です。【単語】、【文法】、【攻略（解き方）】の対策を行います。【文法】は映像授業を全12回、【攻略（解き方）】は配信授業を全5回行い、4技能の攻略方法を伝授します。2次対策も行います。詳細は別紙をご確認ください。

※「英検」は公益財団法人 日本英語検定協会の登録商標です。このコンテンツは、公益財団法人 日本英語検定協会の承認や推奨、その他の検討を受けたものではありません。

高2

英語 T	重要文法事項を整理しながら、「なぜそのようなのか」の視点から踏み込んだ指導を行います。抽象的で難度の高い入試英文の読解法やその背景について学びます。英作文では、「英作文を書くための英文法」をマスターすることを目標とし、添削指導を通して論理的で自然な英文の書き方を学びます。
	150分
英語 H (読解編)	大学入試頻出の「itを含む構文」と「挿入」について、難関大学入試問題の英文を用いて指導を行います。代名詞だけではなく、形式主語・形式目的語や強調構文などでも用いられる it、加えて難読文でよく見られる「挿入」についてここで整理しましょう。
英語 S (読解編)	大学入試頻出の「itを含む構文」と「挿入」について、基礎をかためる指導を行います。代名詞だけではなく、形式主語・形式目的語や強調構文などでも用いられる it、加えて難読文でよく見られる「挿入」についてここで整理しましょう。
必修英文法	英文法について応用力を身につけたい方対象の講座です。構文理解から英作文まで対応できるように、「文型」「準動詞」にしばり演習、解説を行い英文法の応用の方法を学びます。基本事項の整理が行われていることを前提として授業を進めていきますので、事前に該当範囲を復習しておきましょう。
阪大・京大への英作文添削講座	京大・阪大の英語では英作文が可否をわけます。本講座では英作文の取り組み方、並びに文法・構文などの知識事項を解説した上で、実際に答案を作成していただきます。その答案は熟練の授業担当者が添削し、併せてどのように書けば正しい英文になるかを1人ひとりにアドバイスします。京大・阪大を目指すための英作文の力を引き上げます。
数学「積分法」 T/H	数学Ⅱ「積分法」を扱います。微分・積分の計算システムはあまりよくできているため、理論を知らなくても計算法さえ丸暗記していれば答えが求まりますが、それでは難関大入試に通用するレベルには至りません。この講座では答えを求めることではなく、考え方を理解することに重点を置いて指導します。 ※受講基準: 数学Ⅱ「微分法」の基本(導関数の意味や計算方法)を学習していること。
	150分
数学「微分法」 S	数学Ⅱ「微分法」を扱います。微分法・積分法は、理系や経済系志望の方にとっては数学Ⅲや大学で学ぶ数学の内容に直接つながる単元として、その他の方にとっては入試できわめて頻出の単元として、優先順位が高いと言えます。この夏で微分法の考え方と計算方法をマスターし、大学受験に備えましょう。Sクラスでは数学Ⅱ「積分法」は8月期以降で扱います。
数学Ⅱ演習(標準編)	これまでに学習した、三角関数、指数・対数関数、図形と方程式などの数学Ⅱの各単元から入試で頻出となる重要問題を解説する講座です。各単元の確かな知識が入試問題を解くためのカギになりますので、この講座で数学Ⅱの復習をしましょう。
阪大・京大への数学添削講座	京大・阪大の数学では、難易度の高い問題に対し正解への道筋を見出すところから正解に至るまでのプロセスを書ききるところまでを自力で行う必要があります。この講座では高2の夏の時点でそのために必要なことが何かを知り、入試までの残りの期間をより有意義なものにすることを目標とします。また、授業または宿題で課した演習の答案は添削し、個別にフィードバックを行います。
入試数学研究&添削講座	難関国公立大2次試験の数学では、複数のテーマ、単元が融合され見慣れない形として出題されます。この講座では、これまでの学習内容が実際の入試ではどう扱われているのか、それを踏まえこれから数学をどのように学習していくべきかを講義します。また、授業または宿題で課した演習の答案は添削し、個別にフィードバックを行います。神戸大、大阪公立大志望の方にお勧めです。
現代文・古文 H	大学入試に出題される難易度の高い文章を読むためには【精読】が欠かせません。【精読】には方法論だけでなく知識も必要です。本講座では、現代文・古文ともに良質な文章を題材とした演習を通じて、「雰囲気を読む」から脱却し、語彙・文法・背景知識を正しく用いる【精読】の習得を図ります。
物理「熱力学」 H	物理を選択している理系の方を対象とする講座です。「熱力学」の単元について、基礎事項の解説と、入試標準レベルの問題演習を行います。熱力学は多くの大学の入試問題で頻出の分野ですので、基本内容の理解を通じて、熱力学的な状況をイメージし、分析する考え方を身につけていただきます。
化学 H	難関大を目指す理系の方を対象とする化学の講座です。本講座では高2の間に化学基礎+理系化学を体系的に網羅し受験学年に備えます。夏期講習では理論化学分野より「熱化学方程式」「結合エネルギー」「金属の結晶」「イオン結晶」の各単元について、基本~標準レベルの入試問題を演習および解説します。

高 3



英語 T 150分	トップレベルの英文を用い、構造分析、下線部和訳、マクロ的読解を指導します。抽象度の高い重要語の概念理解、論理的思考力の養成だけでなく、難語を含んだ読解法に至るまで様々なテーマと形式に対応できる力を身につけます。また、添削指導を通して、論理的で自然な英作文の方法も指導します。
英語 H (読解編)	英文読解では、長文化傾向にある難関大の入試問題に対応するために、素早く読んで内容を解釈する技術である「パラグラフリーディング」を指導します。英作文では、長い和文を英訳する際に必要となる「節の処理の仕方」について指導します。実戦的な読解力と減点されない解答作成能力を身につけます。
英語 S (読解編)	大学入試で最も大きな割合を占めているのが英文読解です。長文を素早く読んで内容を解釈するためには英語を一文一文を正しく読む力に加えて、論理的なつながりを意識する必要があります。この講座では長文を読む技術である「パラグラフリーディング」の基礎を指導し、実戦的な読解力向上を目指します。
英語 (英文法編)	最近受験で頻出の文法事項に焦点を当て授業を行います。様々な文法問題を総合演習形式で解いていただきますので、現在自分にどの程度文法力があるのか確認することができます。私立大専願の方はもちろん、国立大志望の方にもこの講座を受講することをお勧めします。
英単語増強講座	「へん」と「つくり」から漢字を覚えるように、単語のコア(核)のイメージを通して覚えます。例えば、com(共)+ven(来)から成る conventionは「人が集まってくる」→「集会」→「取り決め」→「慣習」となります。派生語や多義語、難語を効率よく整理する方法を学びます。
共通テスト英語リーディング 200分	大学入学共通テストの英語は全ての大問が読解問題となり、読む分量がセンター試験と比べ多くなっていますが、制限時間は変わっていませんので、時間配分をよく考えて問題を解く必要があります。本講座では模擬問題を通した演習と解説を通し、問題の特徴を知り、情報処理の速度と正確さを磨きます。* 200分×2回です。
共通テスト英語リスニング 50分	センター試験に比べ、多くの大学で配点の割合が増える大学入学共通テストのリスニング問題。読み上げ回数は少なくなる一方で処理する情報は多くなっており、早期から「普段の学習で心掛けるべき対策」と「過去問をふまえた対策」を意識した学習をするための講座です。
数学 I A II B - T	数学 I A II B の全範囲について、京都大・大阪大レベルの問題演習および解説をする講座です。なぜそのような解法なら正解に結びつけられて、別の解法だと途中で解けなくなるかといった解法の見極め方、および初見の問題に対してどのようにアプローチをすれば正解に辿り着けるかを中心に解説します。
数学 I A II B - H / S	数学 I A II B の「確率」「数列」「ベクトル」といった入試頻出の重要単元について、入試問題演習を行い、基礎知識を確認して弱点補強をするともに、定番の解法に関してなぜそのような解法なら正解に結びつくのかといった解法の選択のポイントを解説します。
数学 III - T	理系数学の入試で配点が高く、合否への影響も大きい数学 III について、そのハイレベルな頻出重要問題を演習し、その解法を講義します。パターン演習ではなく、この分野における問題解決力と論理的思考力、確かな計算力を身につけ、入試実戦力を養います。
数学 III - H (数式編) / (応用編)	理系数学の入試で配点が高く、合否への影響も大きい数学 III について、極限、微積分などの重要な計算に重きを置いた数式編、やや難易度が高いが重要なテーマを扱う応用編の前後編で、数学 III での得点力を増強します。神戸大や大阪公立大志望で数学 III が必要な方にお勧めします。
共通テスト数学 I A II B	共通テスト数学 I A、数学 II B の問題分析と、予想問題の演習・解説を行う講座です。2次試験とは異なる「共通テストにこそ必要な力」とはどんなもので、それを本番までに高めるにはどのように学習すればよいのかについても講義します。* 数学 I A、II B 各 2 回です。I A (2 回) のみの受講も可能です。
現代文 T H	京大、阪大をはじめとする難関国立大・難関私立大の合格を目標に、読解法と解答法の応用力を身につける講座です。夏期講習では記述問題を中心に扱います。本文の要点を適切に把握・整理するスピードを上げるだけでなく、設問の要求を正確に分析し、解答を組み立てる方法を学習します。
現代文 S	関関同立大や産近甲龍大の合格を目標に、現代文の普遍的な読解法や、論理的な解法を学習する講座です。4月期～7月期で学習した内容の復習も行いながら、夏期講習では実戦力の完成を目指します。時間制約を意識して本文を正確に読み解く力や、設問を分析するアプローチの方法について学習していきます。
共通テスト現代文	本講座では、今後もセンター試験に比べて長文かつ複雑になることが予想される共通テスト現代文に特化した対策を、実戦的に学習します。制限時間内に文章内容を客観的に把握し、設問に論理的に解答するにはどうすれば良いのか、さらに、共通テストに特有のポイントを、実際の入試問題を踏まえて学習していきます。
古文 S	関関同立大や早稲田大、GMARCH を中心とする私立大入試の問題文を扱うことで、出題形式を知るとともに、古文読解の基礎となる単語力と文法力を整理・強化していきます。また、この基礎力を土台とした、長文の読解方法(人物把握法など)や客観問題の選択肢の絞り込み方を指導します。
共通テスト古文・漢文	古文の読解においては文法力と単語力、漢文においては句法が大切ですが、選択肢を利用した本文の読解法など、共通テストの古文、漢文には独特の解法があります。その解法により高得点を目指す講座です。特に国立大志望の方におすすめの講座です。

1講座は4回で、特に記述がない限り100分/回です。

古典文法復習講座A (用言・助動詞編) VOD	文法知識の補強を図りたい方のための映像講座です。用言・助動詞を単元として、「ポイント講義→演習→解説」の形式で、各単元の基礎事項の理解を深め、選択式の文法問題から短文現代語訳問題まで解答できる実力を養います。文法問題の正答率を高めることは読解力の向上にも繋がり、「使える知識」として習得できます。
古典文法復習講座B (助詞・敬語編) VOD	文法知識の補強を図りたい方のための映像講座です。助詞・敬語を単元として、「ポイント講義→演習→解説」の形式で、各単元の基礎事項の理解を深め、文法問題を解答できるだけでなく、読解に活かす文法力を養います。受験生の力の差が如実に見える単元だからこそ、この講座で「使える知識」を習得しましょう。
古典文法復習講座C (識別・和歌の修辞法編) VOD	文法知識の補強を図りたい方のための映像講座です。「識別」では演習と解説を通じて文法の総整理を行い、「和歌の修辞法」では丸暗記に頼らない文法に基づく解析方法の習得を図ります。国公立大や難関私立大の志望者はこの講座で古文の得点力を身につけましょう。 ※基礎を定着させたい人は、用言・助動詞編、助詞・敬語編を受講してください。
物理「熱力学」T/H	レベルに応じた講義、演習を行い、入試問題に対する実戦力をつけていきます。この講座では熱力学を一通り学習し、共通テスト、二次入試どちらにおいても重要な熱力学の考え方を身につけていただきます。Tクラスは京都大、大阪大など、Hクラスは神戸大や大阪公立大、関関同立大志望の方向けです。
物理「電気」T/H	レベルに応じた講義、演習を行い、入試問題に対する実戦力をつけていきます。この講座では電気分野の電場、電位からコンデンサーの性質まで取り扱い、電磁気全般の核となる考え方を身につけていただきます。Tクラスは京都大、大阪大など、Hクラスは神戸大や大阪公立大、関関同立大志望の方向けです。
化学「反応速度と化学平衡」T	理論化学の最重要分野である反応速度、気相平衡、電離平衡、溶解度積について講義および演習する講座です。難関国公立大学の2次試験では、反応速度や平衡の問題が勝敗を分ける大きなポイントになります。現役生においては演習が不足しがちな分野なので、夏期の間克服しておきましょう。
化学「有機化学演習」T	化学を選択している理系の方を対象とする、有機化学についての実戦的な演習および解説の講座です。入試で出題された良問を題材に、基本知識をどのように応用するかという理論を中心に解説を行い、確実に正解に辿り着く方法をお伝えします。
化学「有機化学講義」H	高分子化合物を除く「有機化学」全範囲についての講義・演習講座です。ある程度は学習したが問題を解く段階でうまく知識が使えない方やこの分野の内容がうろ覚えになっている方を対象に、もう一度基本を整理し直し、スムーズに入試問題演習が行えるレベルまでを目標として進めます。
化学「有機化学入試演習」H	高分子化合物を除く「有機化学」の全範囲について、この範囲は一通り学習が終わっている方を対象にした入試実戦演習講座です。大学入試では最頻出となっている「構造決定問題」を中心に演習します。この分野は入試化学で得点源にできることを実感してもらえればと思います。
入試生物 VOD	身につけた基本知識を前提に、合格点+αの得点を目指して演習を積みみます。入試問題演習を通じて、細かい知識ではなく、合格点を取るための生物のコアになる部分を習得してもらいます。丸暗記するのではなく、しっかりと理解してもらえば必ず合格点が取れるようになります。1講座120分×4回で、2つのユニットに分かれています。
日本史：明治史（前編）	明治新政府の樹立～自由民権運動を単元として講義を行います。列強の接近により開国を余儀なくされた日本が、植民地化の危機にあった状況をいかに乗り越えて、明治新政府を成立させていったのかを眺めていきます。 ※通年カリキュラムの一環です。後編とセット受講してください。
日本史：明治史（後編）	明治新政府がいわゆる「大日本帝国」として確立していく明治後半を単元として講義を行います。これまでの「アジアの中の日本」ではなく、「世界の中の日本」という視点で歴史を眺めることで複合的な理解を促します。 ※通年カリキュラムの一環です。前編とセット受講してください。
日本史：文化史特講A (古代) VOD	古代文化（古墳、飛鳥、白鳳、天平、弘仁貞観、国風、院政期）を扱います。文化史用語は膨大な数がありますが、それでも文化「史」というからには「流れ」が必ずあります。政治・社会経済・対外関係など通史の流れをしっかりと関連付けることで文化史を「理解」して、武器にしましょう。
日本史：文化史特講B (中世～近世前半) VOD	中世～近世前半の文化（鎌倉、室町、安土桃山、寛永、元禄文化）を扱います。武家政権の誕生、ヨーロッパとの出会いなど、古代史とは異なる特徴をもつ時代だからこそ、通史の流れをしっかりと関連付けることで、文化「史」を理解するだけでなく、通史の知識の底上げも図ります。
日本史：文化史特講C (近世後半～近現代) VOD	近世後半～近現代の文化（化政、明治、大正、昭和、現代の文化）を扱います。現役生の多くが時間をかけないまま本番を迎えるこの単元を、得点源にすることは大きな武器になります。通史の流れをしっかりと関連付けることで文化「史」を理解するだけでなく、通史の知識の底上げも図ります。
入試世界史 VOD	受験世界史の効率的習得のためには歴史の因果関係や用語の概念を丁寧に学習する必要があります。夏期ユニットでは、複雑な世界情勢が交錯する現代史を、わかりやすく解説します。練成ユニットに引き続き、問題演習での知識の定着も実施します。1講座120分×4回で、2つのユニットに分かれています。
入試政治経済 VOD	国際政治・国際経済を扱います。国内政治や国内経済に比べて受験生には馴染みが薄い分野ですが、それだけ差がつく分野です。練成ユニットに引き続き、暗記すべきところは暗記する、理解すべきところは理解する、これを明確に分けて講義し、問題演習でしっかりと定着させます。1講座120分×4回で、2つのユニットに分かれています。

お申込み方法・受講料・その他

■お申込み方法

校舎で直接お申込み	お電話でお申込み	FAX でお申込み
受付時間 13:30 ~ 21:00 上記時間外のお申込みについては事前 にご連絡ください。	受付時間 13:30 ~ 21:00	受付時間 24 時間 申込書を FAX でお送りください。
受付期間 各講座の授業開始 2 日前まで	受付期間 各講座の授業開始 2 日前まで	受付期間 各講座の授業開始 2 日前まで

■受講料

50分×4回を1単位とします。100分×4回の講座は2単位、150分×4回の講座は3単位となります。受講単位数の合計により受講料が決まります。

単位数	受講料 (税込)	単位数	受講料 (税込)
1 単位	8,000 円	9 単位	52,000 円
2 単位	15,000 円	10 単位	56,000 円
3 単位	22,000 円	11 単位	60,000 円
4 単位	28,000 円	12 単位	64,000 円
5 単位	34,000 円	13 単位	68,000 円
6 単位	39,000 円	14 単位	71,500 円
7 単位	44,000 円	15 単位	75,000 円
8 単位	48,000 円	16 単位以上	78,500 円

【高1特典】

・夏期講習受講料特典

合計で8単位以上受講の場合→受講料は一律8単位分

【高2特典】

・150分講座パック

150分×4回の講座を2講座受講の場合

→これらに掛かる受講料は5単位分

・高2物理・化学スタートパック

高2物理、化学を2講座受講の場合

→これらに掛かる受講料は2単位分

・夏期講習受講料特典

合計で10単位以上受講の場合→受講料は一律10単位分

【高3特典】

・夏期講習受講料特典

合計で16単位以上受講の場合→受講料は一律16単位分

受講登録費 SUR合格指導会に入会しないで当講習のみを受講する場合は、受講料の他に受講登録費3,300円(税込)が必要です。提携塾の現会員・元会員の方、現会員・元会員の兄弟姉妹の方は受講登録費は不要です。

■お申込み上の注意事項

●個人情報保護

お申込みの際にお知らせいただく個人情報につきましては、当塾の受講に関する事務手続きおよび各種案内郵送のみに使用し、それ以外の用途には使用いたしません。

●受講の取りやめ

受講手続き後、学習開始前にすべての講座の受講を取りやめる場合は、校舎までご連絡ください。納入金を全額ご返金いたします。受取済みの教材は返却が必要です。なお、一部でも受講を開始した場合、すべての講座の受講取りやめはできません。

●講座の追加・変更

追加のお申込みは随時承っております。また、受講開始前であれば、別の講座に変更することが可能です。

●一部講座の取りやめ

受講開始前であれば、ご相談ください。1回でも受講した講座の取りやめはできません。

●遅刻・欠席

遅刻・欠席の場合は必ず校舎までご連絡ください。なお、欠席による補習授業や個別フォローは行いませんが、VOD欠席フォローシステム(無料)で後日受講していただけます。

●VOD欠席フォローシステムについて

ビデオによる授業の録画については、雷等の自然現象および機器の不具合等で録画できないことがあります。その場合、視聴予約をされていた方には授業ノートのコピーをお渡しすることで対応させていただきます。録画ができなかったこと等による受講料の返金はいたしかねますので、何卒ご了承ください。

お申込み
お問合せは

堺東校
〒590-0028 堺市堺区三国ヶ丘御幸通59堺タカシマヤ7F
TEL:072-282-2021
FAX:072-282-2036
本部事務局
〒541-0051 大阪市中央区備後町3-6-2 KFセンタービル
0120-4119-03

